


山行報告書

山行報告提出者：鈴木

山域・山名：水晶岳（読売新道経由 2,986m 富山県富山市）	
入山日：2024年9月25-27日（水-金）2泊3日	
プラン担当者 正：鈴木 副：	赤牛岳からみた水晶岳（左槍ヶ岳、右笠ヶ岳）
参加者 L 報記：鈴木 男 1名、女 名、計 1名	
天候：9/25 晴れ 9/26：晴れ 9/27 薄曇り	
9/25（水）	AM1：00 自宅発、圏央道-関越道-長野道道経由 筑北IC下車 扇沢駐車
9/25（水）	7：30 扇沢電気バス発-7：45 黒4ダム発-11：15 平の小屋-（12：00 渡船） -14：15 奥黒部ヒュッテ泊 行動6h30m
9/26（木）	4：30 ヒュッテ発-11：00 赤牛岳-13：30 水晶岳-14：45 水晶小屋泊 行動10h15m
9/27（金）	4：40 小屋発-6：30 真砂岳-7：20 野口五郎岳-10：30 烏帽子小屋- 12：00 槍見台-13：30 高瀬ダム下山 タクシーで扇沢へ 麻績ICより高速乗車し大宮方面帰宅。 行動8h50m
荒天候時のエスケープルート：引き返す、近隣小屋で待機、	
糧 装 備 と 食	共同装備：なし 共同食：なし 車提供者：鈴木
	個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、ストック、グローブ、水、ツェルト、シュラフカバー、虫除薬、日焼止、 個人食：昼食3、予備食、
感 想	9/25 黒部ダムの観光放水は上段と下段があるらしく、今日は迫力ある上段放出であった。黒部湖左岸、平の渡し乗船後は右岸のアップダウンを歩く。小屋まであと30分の所の水平に置かれた丸太のハシゴを慎重に歩いていたが、突然梯子の桁が外れ真下に落ちた。幸い両脇の下で体重を支え落下は免れたが、左手薬指に捻挫と擦過傷を被った。 9/26 漆黒の闇のなか急登を登れど登れど息が弾むだけ、1時間ほどで空が白み始めるが稜線は遠い。4時間ほどの急登ののち、やっと樹林帯を抜け眺望めいたものが見え隠れしだした。さらに進むと赤牛岳への登山道や左右に名だたる名峰が現れ、傾斜も緩和されこれぞ登山の醍醐味といえる雲上の楽園へ足を踏み入れた。赤牛岳から先の水晶岳までもアップダウンや岩稜帯はあるものの、快晴の中、気が付けば10時間超の歩行ののち小屋に到着した。 9/27 基本下山とはいえアップダウンが多く距離も長く気が抜けない。野口五郎岳も山頂まで数10mの所をトラバースし体力温存に努めた。烏帽子小屋からは下り一辺倒で太腿の疲労感は半端ではない。やっと着いた下山口から高瀬ダムまでは大雨の土砂流出で簡易橋は流出し川幅の狭いところを渡渉し事無きを得た。高瀬ダムからのタクシーは崖崩のため途中で歩行区間があった。梯子で落下、ロング歩行、激下り、といろいろあった山行であった。